

2024年度 研究、教育、社会・学会活動報告書

1. 研究（本年度のみ）

ふりがな	かわぐち かずのり					
教員氏名	河口 和範		職 位	専任講師	学 位	博士 (国際開発)
アルファベット表記	Kazunori Kawaguchi					
	専門分野	アジアの政治と経済、開発経済学、内陸国の経済発展				
研究課題	テーマ	グローバル・バリュー・チェーンの進捗度とその影響				
	概要	現代の経済は世界の国と国とがグローバル・バリュー・チェーンで繋がっている。そのため一国だけでは経済を動かすことができない。グローバルな視点から政治や経済を考察することを目的とする。				
本年度 研究業績	研究テーマ	台湾のグローバル・バリュー・チェーンについての調査				
	経過と到達点	令和7年2月3日～6日にかけて、台湾のグローバル企業である元成機械股份有限公司を訪問し、国際営業部の担当者に聞き取り調査を行う。				

(1) 学術論文

	論文等の名称	発行年月 (西暦)	単・共著 の別	発表雑誌等	概要
①英文査読論文					
②和文査読論文					
③英文論文					
④和文論文					
⑤紀要論文					
⑥紀要研究ノート、専門誌記事等					

⑦学会での 口頭発表、討 論者(ディス カッサント)	【口頭発表】 リープフロッグと 開発途上国	2024年 9月4日	単独	京都経済短期大学 経営・情報学会 研 究第1回報告会	開発途上国が技術や経済の進 展において、既存の技術や手法 をカエルが飛び越えるように 直接最先端の技術や手法を採 用することを指す。その結果、 ①技術導入には初期投資や技 術移転の問題がある。②リー プフロッグが達成されたとし ても、社会的な不平等や環境へ の負荷増加などにも考慮が必 要である。③したがって、開 発途上国がリープフロッグを 実現するためには、包括的な 戦略と持続可能な発展目標を 達成するための政策が不可欠 となってくる事例を発表した。
-------------------------------------	-----------------------------	---------------	----	----------------------------------	--

(2) 著書

	著書名	発行年月 (西暦)	発行所等の名称	概要
⑧共著書・ 共訳書				
⑨単著書・ 単訳書				

(3) 外部研究資金獲得(競争的資金獲得)

	研究テーマ (代表研究者名)	期間年月 (西暦)	研究項目の名称 (文科省科研費等)	概要
⑩共同研究 (研究代表)				
⑪単独研究				
⑫共同研究 (分担研究)				
⑬科学研究 助成事業(日 本学術振興 会)申請	※ 申請した場合は「申請」と記入。 申請			

2. 教 育 (本年度のみ)

担当科目		前 期	後 期
		科目名	科目名
担当科目	講義	編入対策特講Ⅱ (経済) 経済英書講読Ⅱ、	マクロ経済学、経済講読Ⅰ、経済英書 講読Ⅰ、異文化コミュニケーション
	演習	基礎ゼミナール、ゼミナールⅡ	ゼミナールⅠ
	実習		
教育内容・方法 の工夫	◆ 講義科目	<ul style="list-style-type: none"> ● マクロ経済学では、講義毎に理解度確認のために小テストを課した。 ● 経済英書講読Ⅰ・Ⅱでは、経済学の英語と日本語対訳付きの教科書を使用し、学生に英語を読む(予習)ことを行ってもらい、それに基づいて講義を行った。 ● 異文化コミュニケーションでは、本年度から人数制限を設けず、留学生20人を10グループに分け、1グループ7~8人(内留学生2人)で自分たちの国の文化や歴史、風習等を議論し、異文化理解に触れるようにした。その結果、学内において留学生と日本人学生がお互いに挨拶しあうなど、大きな成果が見られた。次年度は前期に開講し、早い段階から留学生が一人でも多くの留学生や日本人の友人ができるよう期待している。 	
	◆ 演習科目	<ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクト演習Ⅰ~Ⅳでは、前期にプロジェクトマネジメントの技法を学んだうえで、本年度は「京都のオーバーツーリズム」というテーマで、KJ法を活用し問題発見を行った。その結果をもとに2024年9月6日に私と学生とともに現地調査を行った。その結果をまとめ、2024年12月19日に開催された「研究発表会」にて報告を行った。 ● ゼミナールⅠでは、アジア各国の政治と経済について、外務省の資料を参考にしながら座学方式で講義を進めた。ゼミナールⅡではその内容に基づいてグループを作り発表できるようにする。 	
	実習科目		
	◆ その他(教科書・教材等の作成を含む。)		

(1) 課外活動

①研修旅行 海外	
②研修旅行 国内	

3. 社会・学会活動（本年度のみ）

(1) 公的委員会

分 類	活動・講演の概要
①委員長・座長 国・国際機関	
②委員長・座長 上記以外	
③委員・アドバイザー 国・国際機関	法務省委嘱 京都市西京保護区 保護司（非常勤国家公務員）
④委員・アドバイザー 上記以外	

(2) 学術団体の理事（日本学術会議協力学術研究団体）

分 類	活動・講演の概要
⑤理事長・会長	
⑥理事	

(3) 講演会

分 類	活動・講演の概要
⑦講演者・登壇者・学会座長	

4. 特記事項（本年度のみ）

<ul style="list-style-type: none"> ● 京都経済短期大学生協監事 ● 2024年7月23日、京都府立園部高等学校の「研究者に聴く」において研究室を訪問した学生3名に対し、研究内容や研究方法をお話した。 ● 2024年9月発行の京都経済短期大学図書館発行『リエイゾン』にコラムを投稿した。 ● 2024年9月7日、プロジェクト演習Ⅰ～Ⅳにおいて、学生とともに現地調査を行った。 ● 2025年2月3～6日にかけて、中華民国（台湾）の「元成機械股份有限公司」を訪問し、国際営業部の担当者に台湾におけるコロナ明けのグローバル・バリュー・チェーンについての変化についての聞き取り調査を行う。
